

令和6年度 第3回 越前警察署協議会 開催結果

1 日時

令和6年9月17日（月）午後3時30分から午後5時まで

2 場所

越前警察署2階講堂

3 出席者

- (1) 越前警察署協議会委員 7名
- (2) 越前警察署 署長以下10名

4 内容

- (1) 会長挨拶
- (2) 警察署長挨拶
- (3) 議事

ア 管内の治安情勢等

イ 質疑・応答等

【委員】

どのような薬物対策を行っているのか。

【署長】

薬物対策としては、主に生活安全課員が、管内の小学校・中学校・高等学校等を回り薬物乱用防止教室を行っている。また、刑事課長等が管内の企業に対して、薬物乱用防止に関する講演を行っている。

薬物使用に関しては、若年化が全国的に大きな問題となっており、教室や講演では具体的な事例を紹介する等して啓発活動を行っている。

【委員】

実際に越前署管内でも若年化の傾向は見られるのか？

【署長】

当署管内でも若年化の傾向は見られる。

【委員】

越前市では8月15日に越前市花火大会が開催されたが、8月3日には岐阜県の揖斐川町でも花火大会が開催された。冠山トンネルが開通したこともあり、揖斐川町は、越前市や鯖江市の一部に案内チラシを配布して観光PRをしたと聞いている。

冠山トンネルが開通したことで他県との交流が増えるのは良いことではあるが、従来とは違い人流に変化が現れていると思うので、警察でも事前にしっかり情報収集をしてイベントの警備等に取り組んで欲しい。



【委員】

少年事件の逮捕について説明を受けたが、少年等は繰り返し犯罪を行っていたのか。

【署長】

今回は少年等が繰り返し犯罪を行っていることが判明したので逮捕という厳しい手段を取った。事件に関係していた多数の少年は今までに補導等で何度も名前を目にしたことがある少年ばかりであった。

【委員】

高校生以上の自転車乗車時のヘルメット着用率が非常に低い。ルールを守る姿を大人が見せていかなければならないのではないのか。

【署長】

当署では、越前市と連携して、越前市内の事業所を「自転車用ヘルメット着用促進事業所」に認定して、認定を受けた事業所に自転車通勤する従業員等に自転車用ヘルメットの着用を呼び掛けてもらう取り組みを行っており、明日（9月18日）越前市役所において事業所に対する任命式を行う予定である。今後、このような取り組みを継続して行っていく。

【委員】

高齢者の交通事故が非常に多い。加害者になるのも被害者になるのも高齢者であることが多い。高齢者の交通事故防止対策は何か行っているのか。

【署長】

高齢ドライバー対策として、オブジェ講習を行っている。

受講者の運転状況を計測・評価することで、自分自身では気付いていない運転習慣やクセを知ることができるもので、結果に基づき安全指導を行っており、場合によっては、運転免許自主返納を検討することを教示している。

また、交通安全講習や交通安全教室等では夜間外出する際には反射材を身に付けるよう呼び掛けたり、実際に高齢者の履き物に反射シールを貼付したりしている。

【委員】

飲酒運転も後を絶たないがどのような対策を行っているのか。

【署長】

夜間検問等を行い飲酒運転の取締りを強化している。

また、講習会等でも飲酒運転防止を呼び掛けている。

【委員】

令和5年の調査では、福井県は信号機のない横断歩道で横断歩行者がいる場合の車両停止率が全国ワースト3位であった。

横断する側の意思表示がないことも原因の一つであると思うので、歩行者に対して横断する時は手を挙げるように指導した方がよいのではないのか。

【署長】

警察本部が横断歩行者妨害違反を行った運転者を対象に行ったアンケート結果で、横断歩行者が居るのに停止しなかった理由の中で多かったのは、「歩行者が横断するとは思わなかった」というものであった。歩行者が「横断する」という明確な意思表示を行うことも大切である。今後、講習会等で指導を行っていく。